



動物レスキュー通信

2018年10月 第65号 (平成30年10月1日発行)

発行元

一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
ペット災害危機管理士 三級
お問い合わせ : szuku.foundation@gmail.com

獣医師の誕生と

その歴史



一般社団法人・ペットフード協会の2017年全国犬猫飼育実態調査の結果によるところ、犬猫の推計飼育頭数全国合計は1,844万6千頭(犬892万頭、猫952万6千頭)となっています。同じく平均寿命は犬14.2歳、猫15.3歳となり、昔と比べると驚くほど長生きになっています。それに伴い、町には多くの動物病院があります。動物病院の開設者は、獣医療法第3条の規定に基づき、開設、変更、廃止等の事由が生じた日から10日以内に知事に届出をしなければならない事になっていますが、2017年11月31日現在での届け出数は全国で15,797件。ローソングループの国内店舗数が2018年2月末日現在で13,992店舗ですから、動物病院がいかにたくさんあるか、想像できるかと思います。そして昔と比べて飼い主さんの「ワンちゃん、ネコちゃん」との接し方や知識量が増えたおかげで、飼い主さんにとってパートナーの体調が悪い時はすぐ動物病院へ連れて行ってあげる大切さや、様々な病気を未然に防ぐために予防接種や投薬の為に通つなどまた、保険制度の充実などにより金銭面での心配も薄くなり、動物病院は飼い主さんにとつて、より身近な存在になつていると見えます。動物病院にいる獣医さんになるには国家資格が必要です。しかしそれは近代になってからの事です。その歴史とはどんなものだったのでしょうか。

日本初の獣医さんは、実は「日本書紀」に登場しています。そこにはその大口貢命、オオナムチノミ「ト」と少彦名命(スクナヒコナノミ「コト」)は力を合わせ、心を一つにして、天下を治めました。また顕見蒼生ヘウツシキアオヒトクサリ人間)と畜産(ケモノ)のために、その病気を治療する方法を定めました」と書かれています。又、「古事記」に登場する神話「因幡の白兔」ではオナムチノミ「ト」が皮を剥がれてしまったウサギに「すぐに河口に行き、水で身体を洗つて、蒲(がま)の花粉を敷いて寝転がれば、お前の身体は元通りに治るだろう」とアドバイスし、ウサギは言われたとおりにすると、傷はみるみる癒えていき、身体はすっかり元通りになりました。彼らは現代の獣医師だと言えます。獣医療はその対象がないと発達しません。縄文時代は、古墳時代には牛や馬「ワトリなど人が人間と生活をしていて、記録には残っていないようですが、おそらくその頃にも動物を治療していた人々がいたはずです。平安時代に遣唐使として唐に渡り、馬医術を習得した平仲国は、日本で最初の獣医学書と言われていた「仲国百問答」を著した。その後、安土桃山時代にはコーロッパから獣医師が来日し、その際には豊臣秀吉にアラビア馬が1頭献上されました。そして江戸時代には馬の改良や馬術、医療も発展し、オランダからは馬と共に医療の専門家が来日しました。又、多くの馬の治療に関する書籍が出版されました。明治時代になると農業や畜産の改良や推奨を勧めるための一環として獣医学教育が開始されます。獣医学

神話に登場していた獣医
を学ぶための公立、私立の教育機関は明治初期から全国的に開設されていましたが、明治18年に始まる獣医師の免許制度を前に廃止されました。その他に陸軍でも獣医学を取り入れた教育を始め、後には陸軍獣医学校を設立するまでになりました。「の頃、食肉や乳牛、農耕の為に家畜を利用する機会が増えました。それと同時に家畜の輸入などによって感染症の問題が発生し、獣医師の存在が重要なものと認識され始めました。明治18年には獣医師に公的な資格を与えるために「獣医免許規則」「獣医開業試験規則」が制定され、「この免許がなければ開業する事が出来ない」との免許がなければ開業する事が出来ましたが、何度も改訂を経て、昭和24年には獣医学系の大学を卒業した後、獣医師国家試験に合格しなくてはならないと定められました。戦後の学制改革で獣医学教育は大学での4年生と定められていきましたが、それでは不十分だという意見が以前から出ており、昭和52年の学校教育法の改正により、学部4年の後、修士2年の修了者にのみ國家試験の受験資格が与えられる事になり、昭和59年には獣医学教育は医学部と同じく学部6年制となりました。時代を追うことに獣医師の活動分野は広がり、重要な役目を担つていると言えます。動物の病気を治療するだけではなく、病気の予防や指導啓発なども大切な仕事で、今後はますます獣医師的重要性は高くなるはずです。

獣医師がどのように誕生し、進化して今、獣医師があるのかを知る事で飼い主さんと獣医師との距離が縮まり、その事がせへと繋がると信じております。(詩月)